

1 学年通信

第5号

令和元年12月13日発行
福岡県立久留米高等学校
校長 木本 和宏
第1学年主任 野本 智

知ること伝えること分かること

1年5組担任 湯地 匡浩

先日、我が家の長男である孝太郎(小1)が学校で習った漢字の書き取りの宿題をしていました。「今日はこんな漢字を習ったよ!漢字面白い!」と言います。次男である崇介(年中)も負けじと「僕もこの漢字読めるよ!車(くるま)!」と張り合ってきます。その姿を見ていると、「知らないことを知る、ということは楽しいことなんだなあ。」と改めて思います。皆さんからは知ることを楽しむ余裕なんてない!と、言われてしまいそうです。知りたい!と思うことよりも、知らねばならぬ!と言われて知ることの方が多いののが現状なのかもしれません。くまモンの生みの親であるデザイナーの水野学さんは次のように仰っていました。

「日々の友人との会話や、会社でのプレゼン、創作活動など非常に幅広いところにおいて、最終的にその質を左右するのは知識量だと自分は思っています。」
相手に何を伝えられるかは、何を知っているか、なのです。

「知識量とはまさに定規の長さのようなものだと感じていて、短い定規しか持っていないと、相手の考え方を理解するのに何度も定規を当てる必要があるわけですね。」
相手の何を分かるのかも、何を知っているか、なのです。

今の時代、「何でも調べられる」ことは確かに便利なことです。しかし、それは裏返すと、「自分が必要だと思う知識しか求めない」ことになり、偏った見方しかできなくなる危険性を持っていると思います。学校では幅広い知識を学びます。毎日コツコツと積み上げていく知識は、あなたが相手に何かを伝えるため、そしてあなたが誰かを分かっているための基盤になっていると私は信じています。その知識が一見、自分の人生には必要ないものだと思えたとしても、自分に必要な知識というのは、これから進学したり就職したりする過程で身につけていくものです。幅広く学べることは今しかできません。そしてその知識を総動員して物事を考え、色々な人と触れ合い、たくさんの経験をしてください。

年末年始、ふっと心を落ち着けて自分の将来や今の自分とちゃんと向き合う時間を作って下さい。

大掃除

1年5組副担任 笠 絵梨奈

早いもので2019年も余すところ、あとわずかとなりました。年末と言ったら皆さんは何を連想しますか?クリスマス、年賀状、大晦日……。さまざまあると思いますが、大掃除を連想した人も多いのではないのでしょうか。大掃除って何のためにするのでしょうか。なぜ、わざわざ寒い中、部屋を開け放して冷たい雑巾を使い、

掃除をしなければならないのでしょうか。大掃除は平安時代の行事である「すす祓い」が由来だそうで、「一年のすすを払い、お正月の神様をお迎える」という目的があるとされています。ある日、掃除についてある文章が目にとまりました。

掃除をするのはごみを拾ってきれいにするのも目的の一つですが、

私は創業者から、自分自身の悩みや苦しみなどの「心のほこり」を

取り除くことだと教わりました。

これは、株部株式会社ダスキン社長の山村輝治さんの言葉で、『喜びのタネまき新聞』に掲載されていたものです。掃除が大好きな私は「なるほど」と納得させられました。掃除をすると、もちろん部屋がきれいになります。しかし、それ以上になんとか気持ちが明るくなって、心もきれいになった気になりませんか?それは掃除をすることで、自分の心まできれいになっているからかもしれません。さて、皆さんの自分の部屋はきれいですか?学校で配布されたプリントがきちんと整理されないまま散乱していないでしょうか、勉強道具が机に積み上がっていませんか、洋服を脱ぎ捨てたままにいませんか。整理整頓されていない部屋で、勉強に集中することはできないと私は思います。冬休み、課外や部活はありますが時間はいつもより余裕があるはず。勉強に集中する環境をつくるために、まずは自分の部屋を大掃除してみませんか?一年間で積もったほこりを払いつつ、「心のほこり」も払って、気持ち良く2020年を迎えましょう!



体調に気をつけて、
年末年始を過ごしてね!



保護者会のお礼

1学年主任 野本 智

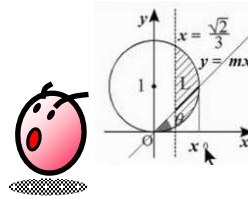
去る10月26日(土)は、進路講演会・学級懇談会に多数おいいただき、ありがとうございました。

進路講演会ではベネッセコーポレーションの日下部遥氏をお招きして、「共通テスト」によって図られる学力や主体的な学びについて多くのことを知りました。「共通テスト」については、まだ分からない部分も多いのですが、新たに得た情報については、お知らせしていきたいと思えます。

また、学級懇談会については、各クラス活発な意見が交わされました。高校生ともなると、なかなか保護者同士知り合う機会も少ないのですが、このような機会を通して、お子様のクラスでの様子などを知ることができたのではないかと存じます。学年としましても、いただいたご質問等については共有し、今後の学習活動で還元していきたいと思っています。

最後になりましたが、お世話をいただきました学年委員の皆さま、ありがとうございました。

2 学期期末考査 各教科講評



国語【国語総合】冬休みは時間に余裕があるので、古文・漢文の復習に力を入れてください。特に助動詞は何度も復習しなければ、なかなか定着しないので、冬休みを利用してもう一度活用表を丸暗記しましょう。冬休み中の課外は模試の過去問を解いていくので、並行して自宅学習で基礎固めをし、実力をつけていきましょう！

地歴・公民【現代社会】今回の考査範囲は比較的学習しやすい内容だったこともあり平均点も高く良い結果となった。次回もこの調子で頑張ってもらいたい。この冬休みは、テレビや新聞、ネットなどを利用して多くのニュースに触れ、政治・経済をはじめとするさまざまな社会問題に対する理解を深めてくれることを期待します。

数学

【数学Ⅰ】
図形と計量の基本です。三角比の定義とその使い方を完璧に復習してください。今後、様々な定理が出てきますので、演習を重ねて基礎を確かなものにしましょう。冬休みには応用問題にチャレンジしますよ！

【数学A】
図形の性質はまず定理を知ること。そして使いこなすこと。与えられたことと求めたいことの把握をして図形のイメージをふくらませていくことが必要です。「思いつきそうにない補助線」も「やったことがある」ようにしてしまえば特別な発想ではない。演習を重ねて慣れていこう！

理科

【物理基礎】
今回は「運動」の総仕上げの範囲で、難しい内容ではありましたが、以前よりも質問に来る人が増え、よく勉強していると感じました。その努力が結果につながった人が多くいるのではないのでしょうか。今後は新分野です。苦手に感じている人もまたリスタートするチャンス！毎回の復習をすることが大切です。

【生物基礎】
腎臓・肝臓の調節、神経とホルモンの分野は、まず正確に用語を覚えること。そのために研究ノートなどで問題演習に取り組み、用語・知識を体系化することが重要です。計算問題はまず考え方を理解し、それから問題演習をしましょう。考察はデータから分かることと知識を結び付けられるようにしましょう。

【地学基礎】
今回は計算が少し入り、また範囲も前回より広がったかと思いますが、多くの人がしっかりと準備して臨んでいるなと感じました。次回がラストの考査になりますので油断せず、最後まで頑張りましょう。

保健体育【保健】今回は生活習慣病にならないためにどのような生活を送る必要があるのかという、日常生活と健康についての問題でした。身近な課題だったので問題は難しくなかったが、漢字の間違い等のミスが目立ちました。最後までしっかり見直しをしましょう。

家庭

【家庭基礎】
食物の分野では、食品群別摂取量のめやすについてなど、献立作成を行うときに役立つ内容が主でした。被服の分野では、繊維の種類や特徴、洗剤のはたらき、取り扱い表示など被服の管理を行う上で必要不可欠な知識を問う問題を出題しています。どの問題も実生活に役立つ内容です。しっかり復習しておきましょう。

情報【情報と社会】電子メールを利用する際の注意点やインターネットのしくみなどについては、将来の職業労働の場面で役立つ内容です。社会の中の情報システムについては、実生活の中で利用することのできるものです。今後も身の回りの情報化していくものに興味・関心を持って生活してほしいと思います。

英語

【総合英語】
文法知識の定着のために3つの復習をしよう。① 授業があった日の復習 ② 1, 2 日経ってからの復習 ③ 1 週間後の復習。①の復習で、授業の内容を理解できているか確認しよう。また書いたり音読したりして、基本例文を暗記することで文法ポイントを頭に入れよう。②の復習で、ワークブックなどを解答して、覚えた知識を活用できるか確認しよう。そして③の復習で長期記憶にしよう。

【異文化理解】
内容的には非常に難しいテキストを用いているが、知らない語があれば常に辞書を引き、理解できない文法があれば質問し、ねばり強くがんばろう。英作をする機会が多い授業なので、何度も添削を受けて、英語で書く力を身につけよう。入試でも、英検でもすぐ役に立つ能力です。

【コミュニケーション英語Ⅰ】
読解力をつけるには、パラグラフ毎に必ずその要旨を簡単にメモする癖をつけること。これは全訳をするより遥かに重要なことである。このことは英語検定、センター試験、九州大学や東京大学の入試問題でも同じである。パラグラフ毎に何が言いたいのかをメモして読み進め、全体像をつかむ訓練をしよう。これが最も読解の力を伸ばすコツである。

【英語表現Ⅰ】
英語の力を伸ばすには多読多聴多話しかない。量は質に転化する。復習で、27章、ワークブック、基本例文集にきちんと自分の力で取り組もう。答えを写して、その場しのぎの勉強をしてはならない。そして、解答、丸付けをしてからが本当の勉強である。そこから、知らない表現を覚え、あまり定着していない文法事項をしっかり定着させるのである。

1年クラス対抗ディベート大会結果

論題「日本は外国人労働者の受け入れをさらに拡大すべきである。是か非か。」

第1試合 🏆 4組 (肯定) - 5組 (否定)

第2試合 1組 (肯定) - 🏆 3組 (否定)

第3試合 5組 (肯定) - 🏆 2組 (否定)

ベストディベーター賞

1年2組 入部 成華 (立論)

1年3組 石橋 舞子 (質疑)

1年5組 高安 あい (反駁)

最優秀クラス賞

1年2組

DEBATING

